

Today's Mission

①家で過ごす時間が増えていると思います。「リフレッシュしたい…!」「気持ちをリラックスさせたい…!」いろいろな思いが駆け巡ることがあるのではないのでしょうか?

②私は最近、自宅周辺をジョギングしています(3密を避けつつ、運動)。また、家の中でリラックスする時間を必ず用意するようにしています。その時に「自然音」を流しながらリラックスしています。小鳥のさえずり、小川の音、小雨の音、たき火の音…目をつむれば、③ホッと心が落ち着きます。気が向けば、自然音に耳を傾けてみてはどうでしょうか?



今回は『徒然なるままに…vol.1』(記念すべき第1号)からの出題です。一見すると簡単な内容に見えますが、省略されている情報を見抜き、わかりやすい英語に直すことが求められます。HPにあがっている“英作文のコツ①～③”も参考にしながら、チャレンジしてみてください。

答えの投稿は、下記のアドレスまで!休校期間中の課題の質問も受け付け中!

徒然なるままに…

大学の試験がどのような内容か、気になったことはありませんか?

高校の定期試験は、学期内に2回(学年末は1回)実施されるのがよく知られている実施方法です(実力考査【入試レベル等を踏まえたオリジナル問題など】の実施や、定期試験の運用を工夫しているところもあります)。1回の授業も、50分が主流ですね。試験の内容も(所によっては記述式、論述式の設問も多々入ってきますが)、一問一答形式や、短めの記述式の問題が比率的には多めに出题されています。

大学はどうでしょうか?学部などによって違いは出てきますが、大学の試験はいわゆる一問一答形式がメインではなく、“自分の考えを論述する”タイプの試験が圧倒的に多いです。理科系も小問集合のようなものではなく、数問大きな問題が用意され、記述をしていくものがほとんどでしょう。



時には、“〇〇について述べよ”と、わずか1行の問題文に対して、90分かけて論述を完成させていく試験もあります。

記述に慣れていないと、苦戦を強いられることが多いでしょう。また、1回の授業も90分となり、ノート作成も“自分で工夫する”ことが求められます。“これは大事な情報だ”と思うものは、自分で拾い上げ、記録をしていく姿勢が必要です。大学は、高校以上に“自主的に学問に向き合う”場所です。“これは重要だからノートに書いてね”“これ、試験に出るよ”など、甘い情報を期待しないこと。

大学は“研究機関”です。受け身の姿勢では、身につくものは少ないでしょう。しかし、裏を返せば、積極的に身を投じることで、得られる効果は絶大なものになるともいえます。

[35回生投稿窓口・35回生質問受付窓口](#) takatsuka2019@gmail.com

(件名に、学年、組、番号、名前、用件を必ず書いて送信。: 気の向くままに vol.0 参照)
(投稿・質問以外のメールは固くお断りします。休校期間が終了次第、本メールは閉鎖します)

気の向くままに… ～英語で表現コーナー～ vol.11 へ続く

編集 35回生学年団 3-1 KM